

# ～「今」「私たち」が考えるごしよがわら～

財政課 内線2212

市民の皆さんに財政状況を伝えるため、毎月様々な角度から説明していますが、今月は「公共施設」について説明します。



## 公共施設って？

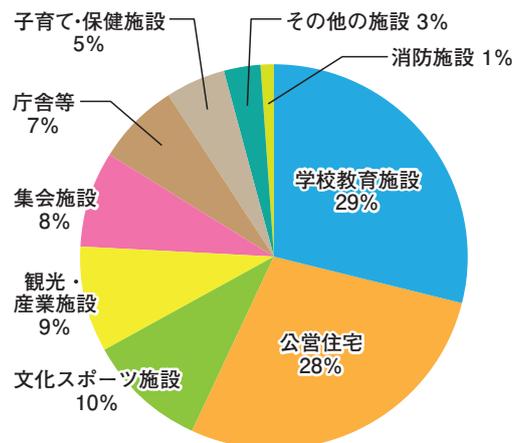
市が保有している施設のうち、市役所庁舎や支所など行政事務を執行するための施設を「公用施設」、その他の学校や図書館、公民館など、主に住民が利用するための施設を「公共施設」と呼んでいます。今回はこの2つをまとめて「公共施設」と表します。

## 公共施設の現状は？

当市が保有する公共施設数は**589施設**、総延床面積は**378,928㎡**(平成31年3月31日現在)となっており、これは克雪ドーム**31個分**の面積とほぼ同じです。

面積割合で見ると学校教育施設が29%、公営住宅が28%、文化スポーツ施設が10%、観光・産業施設が9%、その他が24%となっています。

これらの施設は**昭和50年代**から平成6年頃にかけて集中的に整備されており、大規模改修の目安とされる建設後30年を経過した施設が**全体の約4割**を占めているため、今後、大規模改修等の更新時期が集中することによる大きな財政負担が予想されています。



【公共施設の分野別延床面積】

## 公共施設の今後の課題は？

公共施設の老朽化は全国的な問題となっており、当市においても急速に老朽化が進行しています。

財政状況が厳しい中、老朽化に対応するため、公共施設をどのように維持管理していくのが今後の大きな課題となります。

今後の維持管理費について、一定の条件<sup>(\*)</sup>で試算すると、向こう30年間で**総額約892億円(年平均約30億円)**が必要とされています。

一方で、当市の公共施設に対する過去5年間の維持更新費は年平均で約11億円となっており、現在の財政状況では全ての施設の改修や更新の実施は困難となっています。

〔\*1 ①現在保有する公共施設を全て保有し続けたとする。②建替更新周期は50年とする。〕  
③新たな施設は建設しないとする。〕

## 今後の方針

このような状況の中で、効率的な整備・管理運営を行い、住民が安心、安全、そして持続的に公共施設を利用できるように、平成27年10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

今後はこの計画に基づき、公共施設の分類ごとに策定する「個別施設計画」で、各施設の利用状況や配置状況、また施設の用途に応じた今後の方向性などを示すとともに、それに関する実施計画を策定することにより、適切な公共施設の維持管理を目指していきます。

## プレミアム付商品券には利用期限があります 申請はお早めに

プレミアム付商品券は2月29日(土)までの利用期限がありますので、期間内に購入してご利用ください。また、購入対象者(非課税者)で申請がまだお済みでない方は、プレミアム付商品券購入引換券が発行されるまで時間がかかりますので、お早めに申請ください。

1月からは市役所本庁舎、金木総合支所での販売になります。

### 販売場所・期間

場 所	期 間	時 間
五所川原市役所本庁舎	2月28日までの水・金曜日	10:00～16:00
金 木 総 合 支 所	12月27日(金) 1月15日(水)、31日(金) 2月14日(金)、28日(金)	10:00～16:00

\*販売状況により販売場所・期間が変更になることがあります。

お問い合わせ先…申請やプレミアム付商品券について

五所川原市プレミアム付商品券窓口 平日 9:00～17:00

電話 26-5372・5373 特設サイト <https://premium5.jp>